

[プレスリリース]

2019/05/09

小林正人「画家とモデル」

2019年6月1日(土) - 7月6日(土)



シュウゴアーツでは6月1日より小林正人「画家とモデル」展を開催いたします。

古くは画家とモデルの関係性は「見る - 見られる」「描く - 描かれる」というものでしたが、時としてモデルはその状態を超えて画家の感性に触れ、見えないものに形を与える媒介的な役目を果たすこともあります。高校時代に愛する人物を描くため芸術の世界に足を踏み入れた小林にとって、モデルは創作の根源的な動機であり、また共同制作者であり続けました。

小林の作品は孤立した物体ではなく、この星の時空間に存在する絵画です。その一つの答えとして90年代に小林は長方形の枠を飛び出し、キャンバスを張りながら手で描くという絵画の魂と肉体を一つに合わせるような方法論を創出しました。また00年代からはひどい絵から美しい絵の境界線を拡張するような作品を数々生み出してきました。

2017年から制作を始めた今展では、後ろ向きに横たわり背中から心臓を撃ち抜かれたモデルと、筆を咥えて歯噛みをする馬（画家）がそれぞれ描かれ展示されます。両者の関係性は謎に満ち、決してハッピーエンドを迎えるものとも限りません。しかしその過程の中で画家は現実と画を生き抜き、過去も現在も統合し美を結実させます。その行為は神秘的であり、ひとりでなし得ることが出来ないからこそ、小林はこの星に捧げる作品として画家とモデルをテーマに制作を続けます。

本展覧会を貴媒体にてご喧伝頂ければ幸いです。是非ご期待ください。

2019年5月 シュウゴアーツ

小林正人は 1957 年東京生まれ。東京芸術大学美術学部油画専攻卒業。1996 年サンパウロビエンナーレ日本代表。1997 年キュレーター ヤン・フート氏に招かれ渡欧。以降ベルギー、ゲント市を拠点に各地で現地制作を行い 2006 年に帰国。主な個展：「画家とモデル」シュウゴアーツ（2019）、「ART TODAY 2012 弁明の絵画と小林正人」セゾン現代美術館（2012）、「この星の絵の具」高梁市成羽美術館（岡山、2009）、「STARRY PAINT」テンスタコンストハーレ（スウェーデン、2004）、「A Son of Painting」S.M.A.K（ゲント、2001）、「小林正人展」宮城県美術館（2000）

展覧会概要

小林正人「画家とモデル」

2019 年 6 月 1 日(土) - 7 月 6 日(土)

シュウゴアーツ 106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 5 番 24 号 complex665 2F

火～土曜 午前 11 時 - 午後 7 時 開廊（日月祝休廊）

オープニングパーティー：6 月 1 日(土) 午後 5 時より

オープニングトーク：小林正人 × 大城カズ

6 月 1 日(土) 午後 3 時より シュウゴアーツにて（入場無料）

event@shugoarts.com まで要予約。定員に達し次第応募締切。



ShugoArts シュウゴアーツ 106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 5 番 24 号 complex665 2F

掲載用画像の貸出し・お問い合わせ プレス担当: 大谷樹生 / 03-6447-2234 / nayuta@shugoarts.com